

豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版）について

豊島区子ども読書活動推進計画(第四次) 計画数値の結果

1 読書が好きかどうか（本を読むことが「好き」及び「どちらかといえば好き」の合計値/概要版 3 頁）

【豊島区数値】

	小学 2 年生	小学 5 年生	中学 2 年生	高校 2 年生
調査結果	85.9%	82.6%	71.5%	75.2%
目標数値 (目標数値との差)	90%以上 (△4.1%)	90%以上 (△7.4%)	50%以上 (+21.5%)	50%以上 (+25.2%)
(参考) 令和元年度調査数値	88.0%	85.2%	63.2%	68%

※

<参考> 東京都「令和 6 年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査結果」

(本を読むことが「好き」、「どちらかといえば好き」の合計値)

【東京都数値】

小学 3 年生	小学 5 年生	中学校 2 年生	高校 2 年生
85.2%	79.4%	70.5%	68.2%

2 不読率の改善状況（概要版 4 頁）

【豊島区数値】

	小学 2 年生	小学 5 年生	中学 2 年生	高校 2 年生
調査結果	13.6%	15.6%	30.1%	46.5%
目標数値 (目標値との差)	1.3% (△12.3%)	2.7% (△12.9%)	6.6% (△23.5%)	15.9% (△30.6%)
(参考) 令和元年度調査数値	1.1%	4.3%	12.5%	15.0%

※「不読率」…1 か月間に 1 冊も本を読まなかった児童生徒の割合。令和 7 年度調査から、東京都の定義に合わせる為、教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集、絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。

<参考> 東京都「令和 6 年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査結果」

【東京都数値】

小学 3 年生	小学 5 年生	中学 2 年生	高校 2 年生
7.4%	7.4%	11.6%	36.3%

<参考> 学校読書調査「第 70 回学校読書調査報告」(2025 年)

【全国数値】

小学 4～6 年生	中学生	高校生
9.6%	24.2%	55.7%

※学校読書調査:全国学校図書館協議会による全国調査

3 地域の図書館の活用頻度（概要版 8 頁）

【豊島区数値】

	小学 2 年生	小学 5 年生	中学 2 年生
調査結果	84.0%	82.1%	42.6%
目標数値 (目標値との差)	95% (△11.0%)	90% (△7.9%)	60% (△17.4%)
(参考) 令和元年度調査数値	90.0%	85.9%	55.6%

※計画では「学校や地域の図書館の活用頻度」。高校生は学校図書館の活用頻度が調査できない、豊島区非在住の生徒が多いため、目標値設定していない。

豊島区読書活動に関する実態調査報告書

～ 概要版 ～

<調査の目的>

- 調査Ⅰ 「豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）」の効果を検証し、次期計画（第五次）策定の基礎資料とする。
- 調査Ⅱ 「豊島区立図書館基本計画（第二次）」に基づく事業の検証や区民の読書に関する意識、図書館の利用状況等、図書館運営への要望を把握し、今後の図書館経営及び次期計画策定の基礎資料とする。

<調査の概要>

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象
 調査Ⅰ : 区内小学校（9校）2年生・5年生・区内中学校（6校）2年生・区内高校（2校）2年生とその保護者
 調査Ⅱ : 一般区民
- (3) 抽出方法 調査Ⅱ : 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法
 調査Ⅰ : ・小・中学校は、調査票を対象校へ区内交換便で送付し、インターネット回収
 ・高校は、調査票を対象校へ郵送により送付し、インターネット回収
 ・保護者には児童・生徒経由で調査票を配付し、インターネット回収
 調査Ⅱ : 郵送で配付し、郵送またはインターネット回収
- (5) 調査時期 令和7年9月1日～令和7年9月30日
 （小学校・中学校のみ令和7年9月1日～令和7年10月31日）
- (6) 回収結果

		配付数	不在返送数	有効配付数	有効回収数	有効回収率
調査Ⅰ	小学生	1,210人			824人	68.1%
	中学生	601人			249人	41.4%
	高校生	672人			536人	79.8%
	保護者	2,483人			733人	29.5%
調査Ⅱ	区民	2,500人	18人	2,482人	667人	26.9%

～ 調査結果の見方 ～

- ◇ 表中のnは該当質問での回答者総数を表す。
- ◇ 複数回答は質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が1つの単数回答を表す。
- ◇ 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。
- ◇ 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- ◇ 表中で回答が一番多い項目に着色している。

◎この調査の詳しい結果は、「豊島区読書活動に関する実態調査 報告書」をご覧ください。

調査Ⅰ：小学生調査／中学生・高校生調査／保護者調査

1 読書とその他の行動時間

(1) 学校が終わってからの行動（複数回答）

〔報告書：9・61頁〕

小学生全体は多い順に「勉強や宿題」、「塾や習い事」、「友だちと遊ぶ」。不読者は「友だちと遊ぶ」、「勉強や宿題」、「ゲームをする」の順。

	小学生 (n=824)	不読者 (n=49)
勉強や宿題	79.0%	51.0%
塾や習い事	59.8%	36.7%
友だちと遊ぶ	58.0%	61.2%
ゲームをする	49.6%	49.0%
テレビやDVDを見る	45.8%	34.7%
本やマンガや雑誌などを読む	41.7%	14.3%
子どもスキップ・学童クラブを利用する	36.4%	26.5%
インターネットやユーチューブなどのSNS	34.7%	38.8%
地域の図書館を利用する	11.5%	4.1%
その他	5.6%	4.1%

※不読者：概要版4ページ(2)1か月の平均読書冊数で、紙の本+電子書籍計の合計を0冊と回答した児童

(2) 読書時間とその他の行動時間（1日平均時間数）

〔報告書：80・134・135頁〕

中学生全体は多い順に「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「スポーツなど体を動かす」、「ゲームをする」。中学生不読者は「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「ゲームをする」、「スポーツなど体を動かす」の順。高校生全体、不読者ともに多い順に「インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする」、「スポーツなど体を動かす」、「勉強や宿題をする（塾を含めて）」。

	中学生 (n=249)	不読者 (n=43)
インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする	165.2分	191.6分
スポーツなど体を動かす	87.2分	96.5分
ゲームをする	83.7分	110.9分
テレビやDVDをみる	78.3分	57.9分
勉強や宿題をする（塾を含めて）	76.7分	63.3分
本、マンガ、雑誌などを読む	33.5分	3.5分

	高校生 (n=536)	不読者 (n=138)
インターネットやYouTubeなどのSNS、メールなどをする	171.8分	190.2分
スポーツなど体を動かす	83.2分	86.0分
勉強や宿題をする（塾を含めて）	61.0分	53.3分
ゲームをする	54.4分	42.4分
テレビやDVDをみる	50.3分	45.9分
本、マンガ、雑誌などを読む	26.9分	2.6分

※不読者：概要版4ページ(2)1か月の平均読書冊数で、紙の本+電子書籍計の合計を0冊と回答した児童

(3) 1日の平均読書時間

〔報告書:14・80頁〕

小学生 53.1分、中学生 33.5分、高校生 26.9分と学年が上がるにしたがい読書時間が減る傾向。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
0分	11.5%	31.3%	44.8%
1～29分	21.8%	21.3%	9.9%
30～59分	28.0%	24.9%	22.8%
60～89分	17.6%	13.3%	15.9%
90～119分	8.6%	0.4%	1.5%
120分以上	12.4%	8.8%	5.2%
平均	53.1分	33.5分	26.9分

2 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

〔報告書:13・83頁〕

本が好きの割合は、小学生は8割台半ば、中学生は7割台前半、高校生は7割台半ば。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
好き	48.9%	26.5%	32.5%
どちらかといえば好き	35.2%	45.0%	42.7%
どちらかといえばきらい	11.4%	19.3%	19.2%
きらい	4.5%	9.2%	5.6%
好き(計)	84.1%	71.5%	75.2%

(2) 1か月の平均読書冊数

[報告書:16・19・22・86・90・92・144～147頁]

※「本」…読み物、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ、コミック、新聞、雑誌など(教科書以外の読み物全て)

紙の本+電子書籍計の平均は小学生(2年生)37.3冊、小学生(5年生)20.1冊、中学生8.6冊、高校生6.1冊と学年が上がるにしたがい読書冊数が減る傾向。

家庭内の本の冊数別でみると、いずれの学年も100冊以上の平均に比べて50冊未満の平均が少なくなっている。

■紙の本(ジャンル合計)

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	28.9冊	16.5冊	6.0冊	3.0冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	9.8冊	8.3冊	3.7冊	1.4冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	51.0冊	23.7冊	10.5冊	5.0冊

■電子書籍(ジャンル合計)

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	8.4冊	3.6冊	2.7冊	3.2冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	2.9冊	2.6冊	1.9冊	3.1冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	21.1冊	5.0冊	5.3冊	3.7冊

■紙の本+電子書籍計(ジャンル合計)

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
平均	37.3冊	20.1冊	8.6冊	6.1冊
	(n=144)	(n=138)	(n=115)	(n=216)
50冊未満の平均(※)	12.7冊	10.9冊	5.6冊	4.6冊
	(n=104)	(n=150)	(n=64)	(n=156)
100冊以上の平均(※)	72.1冊	28.7冊	15.8冊	8.7冊

(※)概要版7ページ(1)家庭内の本の冊数

(3) 不読率

[報告書:46・121頁]

※「不読率」…東京都の定義に合わせる為、教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集、絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。

紙の本+電子書籍計の0冊(不読率)は小学生(2年生)13.6%、小学生(5年生)15.6%、中学生30.1%、高校生46.5%と学年が上がるにしたがい増える傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
豊島区不読率「0冊」	13.6%	15.6%	30.1%	46.5%
東京都不読率「全く読んでいない」	7.4%	7.4%	11.6%	36.3%

※東京都は小学2年生は調査をしていないため、3年生の結果を掲載。

(4) 『読み物・絵本』を読まない理由(複数回答)

[報告書:47・122頁]

小学生(2年生)は豊島区、東京都ともに「読みたい本がなかったから」がトップ。小学生(5年生)は豊島区は「読みたい本がなかったから」、東京都は「本を読むことに興味がないから」がトップ。中学生は豊島区は「読みたい本がなかったから」、東京都は「本を読むことに興味がないから」がトップ。高校生は豊島区、東京都ともに「本を読む時間がなかったから」がトップ。

小学生(2年生)	豊島区 (n=52)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位(38.5%)	1位(38.2%)
どれもあてはまらない	2位(26.9%)	4位(17.4%)
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから	3位(19.2%)	5位(15.1%)
本を読む時間がなかったから	4位(17.3%)	3位(26.1%)
本を読むことに興味がないから	5位(11.5%)	2位(28.4%)

小学生(5年生)	豊島区 (n=69)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位(52.2%)	2位(43.6%)
本を読むことに興味がないから	2位(36.2%)	1位(44.6%)
本を読む時間がなかったから	3位(31.9%)	4位(22.4%)
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから	4位(10.1%)	3位(25.5%)
どれもあてはまらない	4位(10.1%)	5位(9.2%)

中学生	豊島区 (n=75)	東京都 (n=不明)
読みたい本がなかったから	1位(61.3%)	2位(47.9%)
本を読むことに興味がないから	2位(46.7%)	1位(53.4%)
文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから。面倒だから	3位(29.3%)	4位(28.9%)
本を読む時間がなかったから	4位(24.0%)	3位(29.7%)
どれもあてはまらない	5位(16.0%)	5位(8.8%)

高校生	豊島区 (n=249)	東京都 (n=不明)
本を読む時間がなかったから	1位(46.6%)	1位(49.2%)
読みたい本がなかったから	2位(43.0%)	3位(37.3%)
本を読むことに興味がないから	3位(33.7%)	2位(42.4%)
どれもあてはまらない	4位(12.0%)	5位(9.0%)
文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから。面倒だから	5位(10.0%)	4位(19.4%)

※東京都調査の質問は、「本」を読まなかった理由

※東京都は小学2年生は調査をしていないため、3年生の結果を掲載。

(5) 本を読んでみようと思うきっかけ(複数回答)

[報告書:28・98頁]

小学生(2年生)、小学生(5年生)はともに「本屋さんなどで気になった」がトップ。中学生、高校生はともに「ドラマ、映画、アニメなどの原作」がトップ。

小学生 (2年生) (n=382)	1位	本屋さんなどで気になった	39.0%
	2位	学校図書館や地域の図書館で気になった	38.0%
	3位	家族や先生など、おとなからすすめられた	31.9%
小学生 (5年生) (n=442)	1位	本屋さんなどで気になった	41.9%
	2位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	41.2%
	3位	学校図書館や地域の図書館で気になった	37.1%
中学生 (n=249)	1位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	45.0%
	2位	書店などで気になった	36.1%
	3位	インターネットやSNSで話題になっている	28.9%
高校生 (n=536)	1位	ドラマ、映画、アニメなどの原作	45.0%
	2位	書店などで気になった	43.5%
	3位	インターネットやSNSで話題になっている	41.4%

(6) 読書頻度

[報告書:32・103頁]

学年が上がるにしたがい読書頻度が下がる傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	中学生 (5年生) (n=442)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
ほとんど毎日	39.8%	27.8%	16.5%	10.8%
1週間に4～5日	14.4%	14.9%	18.9%	7.5%
1週間に2～3日	17.3%	15.4%	16.5%	11.2%
1週間に1日	10.5%	12.2%	8.0%	8.6%
1か月に数日	6.3%	13.3%	13.7%	19.2%
ほとんど読まない	11.8%	16.3%	26.5%	42.7%

(7) 読書をする理由 (複数回答)

[報告書:33・104頁]

豊島区、東京都いずれも「楽しむため」がトップ。

■小学生 (2年生)	豊島区 (n=382)	東京都 (非聴取)
楽しむため	1位 (73.0%)	—
気になる事やわからないことを調べるため (※1)	2位 (37.2%)	—
宿題について調べるため (※2)	3位 (21.7%)	—
親や先生にすすめられたから	4位 (14.4%)	—
友だちが読むから	4位 (14.4%)	—

■小学生 (5年生)	豊島区 (n=442)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (77.6%)	1位 (70.6%)
気になる事やわからないことを調べるため (※1)	2位 (31.2%)	2位 (51.7%)
宿題について調べるため (※2)	3位 (18.6%)	3位 (20.5%)
親や先生にすすめられたから	4位 (17.9%)	4位 (15.6%)
友だちが読むから	5位 (11.5%)	5位 (10.0%)

■中学生	豊島区 (n=249)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (69.9%)	1位 (76.3%)
興味・関心、知識を高めるため	2位 (37.3%)	2位 (47.0%)
課題について調べるため	3位 (15.3%)	3位 (17.8%)
親や先生に勧められたから	4位 (13.3%)	4位 (11.4%)
友達が読むから	5位 (9.2%)	5位 (8.0%)

■高校生	豊島区 (n=536)	東京都 (n=不明)
楽しむため	1位 (79.5%)	1位 (77.0%)
興味・関心、知識を高めるため	2位 (32.3%)	2位 (43.4%)
課題について調べるため	3位 (13.1%)	3位 (26.1%)
親や先生に勧められたから	4位 (5.0%)	4位 (8.0%)
友達が読むから	5位 (4.5%)	5位 (4.9%)

※1:東京都調査の選択肢は「興味・関心、知識を高めるため」

※2:東京都調査の選択肢は「課題について調べるため」

3 読書の環境

(1) 家庭内の本の冊数

[報告書:37・108頁]

小学生は「50冊～100冊くらい」が3割台半ばと最も多く、中学生、高校生は「50冊より少ない(50冊未満)」が4割を超えて最も多い。

	小学生 (n=824)	中学生 (n=249)	高校生 (n=536)
50冊より少ない(50冊未満)	34.2%	46.2%	40.3%
50冊～100冊くらい	35.0%	28.1%	30.6%
100冊より多い(100冊以上)	30.8%	25.7%	29.1%

(2) 保護者自身の読書の頻度〔保護者〕

[報告書:182頁]

子どもの学年が上がるにしたがい「よく読んでいる」は少なくなる傾向。

	小学生 保護者 (n=452)	中学生 保護者 (n=160)	高校生 保護者 (n=121)
よく読んでいる	29.2%	27.5%	20.7%
たまに読んでいる	43.8%	41.9%	40.5%
あまり読まない	18.6%	20.6%	31.4%
まったく読まない	8.4%	10.0%	7.4%

(3) 子どもの読書促進に効果的と思う環境〔保護者〕

[報告書:165頁]

最も効果的と思う環境はいずれの学年の保護者も「家庭での読書環境を充実させる」がトップ。「学校での読書環境を充実させる」が次ぐ。

■小学生保護者

最も効果的		(n=452)
1位	家庭での読書環境を充実させる	59.3%
2位	学校での読書環境を充実させる	23.2%
3位	公共の図書館を充実させる	8.0%

次に効果的		(n=452)
	学校での読書環境を充実させる	37.2%
	学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	21.0%
	公共の図書館を充実させる	17.9%

■中学生保護者

最も効果的		(n=160)
1位	家庭での読書環境を充実させる	46.3%
2位	学校での読書環境を充実させる	27.5%
3位	学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	14.4%

次に効果的		(n=160)
	学校での読書環境を充実させる	33.1%
	家庭での読書環境を充実させる	26.3%
	学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	19.4%

■高校生保護者

最も効果的		(n=121)
1位	家庭での読書環境を充実させる	52.1%
2位	学校での読書環境を充実させる	26.4%
3位	特になし	7.4%

次に効果的		(n=121)
	学校での読書環境を充実させる	36.4%
	学校の図書館と公共の図書館の連携を強化する	19.0%
	家庭での読書環境を充実させる	13.2%

4 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館の利用頻度

[報告書:39・112頁]

小学生、中学生は家庭内の本の冊数が少ないと豊島区立図書館の利用頻度も少ない傾向。

	小学生 (2年生) (n=382)	小学生 (5年生) (n=442)
1年間の平均	29.5回	14.9回
	(n=144)	(n=138)
50冊未満の平均(※)	18.1回	11.9回
	(n=104)	(n=150)
100冊以上の平均(※)	55.6回	16.6回

※小学生は『地域の図書館』として聴取

	中学生			高校生		
	全体 (n=249)	50冊未満 (※) (n=115)	100冊以上 (※) (n=64)	全体 (n=536)	50冊未満 (※) (n=216)	100冊以上 (※) (n=156)
1週間に数日	4.0%	6.1%	3.1%	1.9%	2.3%	1.9%
1か月に数日	13.3%	8.7%	15.6%	4.9%	4.6%	5.1%
1年に数日	25.3%	24.3%	31.3%	6.9%	7.9%	7.1%
ほとんど利用しない	57.4%	60.9%	50.0%	86.4%	85.2%	85.9%

(※)概要版7ページ(1)家庭内の本の冊数

(2) 保護者自身の豊島区立図書館の利用頻度〔保護者〕

[報告書:183頁]

小学生保護者に比べて中学生保護者、高校生保護者の利用頻度が低い傾向。

	小学生 保護者 (n=452)	中学生 保護者 (n=160)	高校生 保護者 (n=121)
よく利用している	24.1%	17.5%	0.0%
たまに利用している	31.9%	25.6%	4.1%
あまり利用していない	20.1%	29.4%	6.6%
まったく利用していない	23.9%	27.5%	89.3%

(3) 豊島区立図書館の利用目的(複数回答)

[報告書:40・113頁]

小学生は「本を借りる・本を読む」がトップ。中学生、高校生は「行かない」がトップ。

小学生 (n=824)	1位	本を借りる・本を読む	86.8%
	2位	調べ学習などの勉強をする	22.8%
	3位	行かない	9.8%
中学生 (n=249)	1位	行かない	66.7%
	2位	本を借りる・読書する	24.5%
	3位	調べ学習などの勉強をする	13.7%
高校生 (n=536)	1位	行かない	85.6%
	2位	調べ学習などの勉強をする	7.6%
	3位	本を借りる・読書する	7.1%

※中学生、高校生は『学校がある日』の結果を掲載

調査Ⅱ：一般区民調査

1 読書の意識・実態

(1) 読書が好きかどうか

[報告書:213頁]

読書が「好き」、「どちらかといえば好き」を合わせた「好き」（計）は8割台半ば。

	(n=677)
好き	50.2%
どちらかといえば好き	36.3%
どちらかといえば好きでない	9.9%
好きでない	3.1%
無回答	0.4%
好き（計）	86.5%

(2) 本を読むきっかけ（複数回答）

[報告書:215頁]

「新聞やテレビでの本の紹介」がトップ。「家に本があること」が次ぐ。

		(n=677)
1位	新聞やテレビでの本の紹介	51.1%
2位	家に本があること	49.5%
3位	勉強や仕事のため	47.4%

(3) 1か月の平均読書冊数

[報告書:218・220・222頁]

平均は紙の本が9.3冊、電子書籍が3.6冊、紙の本+電子書籍計は13.0冊。

ジャンル別の紙の本+電子書籍計の平均は、読み物・絵本が2.3冊、マンガ・コミックが2.2冊、新聞が5.8部。

	紙の本 (n=677)	電子書籍 (n=677)	紙の本+ 電子書籍 計 (n=677)
0冊	10.8%	57.2%	4.9%
1冊	10.2%	7.8%	5.9%
2～3冊	23.9%	11.8%	18.5%
4～5冊	15.5%	4.9%	15.1%
6～10冊	14.2%	9.7%	19.8%
11～20冊	9.5%	4.1%	14.5%
21～30冊	4.0%	2.2%	5.5%
31冊以上	11.5%	1.8%	15.5%
無回答	0.4%	0.4%	0.4%
平均	9.3冊	3.6冊	13.0冊

		紙の本	電子書籍	紙の本+ 電子書籍 計
読み物・絵本	(n=677)	1.8冊	0.5冊	2.3冊
実用書・参考書	(n=677)	1.0冊	0.4冊	1.3冊
マンガ・コミック	(n=677)	0.6冊	1.6冊	2.2冊
雑誌	(n=677)	0.9冊	0.4冊	1.3冊
新聞	(n=677)	5.1部	0.8部	5.8部
合計	(n=677)	9.3冊	3.6冊	13.0冊

(4) 普段読む本のジャンル（複数回答）

〔報告書：225頁〕

「文学・評論」がトップ。「マンガ」、「話題になっている本」が次ぐ。

(n=677)		
1位	文学・評論	45.1%
2位	マンガ	37.4%
2位	話題になっている本	37.4%
4位	旅行ガイド	33.8%
5位	ノンフィクション	33.4%

(5) 読みたい本の入手方法（複数回答）

〔報告書：228頁〕

「書店・古書店などで購入する」がトップ。「図書館を利用する」が次ぐ。

		最も多い方法 (n=677)	次に多い方法 (n=677)	最も+次に多い計 (n=677)
1位	書店・古書店などで購入する	51.0%	25.1%	76.1%
2位	図書館を利用する	20.5%	21.1%	41.6%
3位	インターネットで購入する	14.0%	23.6%	37.6%
4位	電子書籍を利用する	10.0%	9.2%	19.2%
5位	人から借りる・もらう	1.8%	7.5%	9.3%

(6) 知識や情報の入手媒体

〔報告書：231頁〕

「インターネット」がトップ。「テレビ」、「新聞」が次ぐ。「書籍・雑誌」は5番目。

18～29歳は「SNS」がトップ。20～69歳までは「インターネット」がトップ。70歳以上では「テレビ」がトップ。

		最も多い方法 (n=677)	次に多い方法 (n=677)	最も+次に多い計 (n=677)
1位	インターネット	39.9%	20.4%	60.3%
2位	テレビ	20.7%	22.6%	43.3%
3位	新聞	15.4%	13.0%	28.4%
4位	SNS (Instagram、X、YouTubeなど)	12.6%	15.7%	28.3%
5位	書籍・雑誌	5.9%	13.7%	19.6%

■ 「最も多い」 + 「次に多い」計

	1位	2位	3位
18～29歳 (n=34)	SNS 82.3%	インターネット 70.6%	テレビ 17.6%
30～39歳 (n=69)	インターネット 79.7%	SNS 56.5%	書籍・雑誌 31.8%
40～49歳 (n=136)	インターネット 78.7%	SNS 45.6%	テレビ 27.9%
50～59歳 (n=127)	インターネット 77.2%	テレビ 42.5%	書籍・雑誌 22.8%
60～69歳 (n=125)	インターネット 66.4%	テレビ 50.4%	新聞 30.4%
70歳以上 (n=177)	テレビ 63.2%	新聞 59.9%	インターネット 21.4%

(7) 電子書籍の利用状況

〔報告書：234頁〕

全体で「利用している」は約4割。

18～29歳、30～39歳で7割前後と他の年齢層より多い。

	全体 (n=677)	18～29歳 (n=34)	30～39歳 (n=69)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=127)	60～69歳 (n=125)	70歳以上 (n=177)
利用している	39.3%	70.6%	68.1%	65.4%	40.9%	24.8%	10.2%
利用していないが、今後は利用したい	15.2%	5.9%	14.5%	10.3%	19.7%	19.2%	15.3%
利用していないし、今後も利用したくない	39.3%	23.5%	15.9%	22.1%	38.6%	47.2%	61.0%
電子書籍を知らない	4.4%	0.0%	1.4%	2.2%	0.0%	8.0%	8.5%
無回答	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	5.1%

2 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館のサービスの認知度

[報告書:236頁]

「CD・DVDを借りることができる」、「調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）」の認知率は6割台。

■認知度ベスト5

		(n=677)
1位	CD・DVDを借りることができる	68.7%
2位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	64.1%
3位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	57.8%
4位	インターネットやスマートフォンから資料の検索・予約ができる	56.7%
5位	区外の図書館から本を取り寄せることができる	45.0%

■認知度ワースト5

		(n=677)
1位	中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている	9.9%
2位	メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している	11.6%
3位	電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館）	17.3%
4位	区内の連携している大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる	19.3%
5位	専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている	34.6%

■「知っているが利用したことがない」サービス

		(n=677)
1位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	45.1%
2位	CD・DVDを借りることができる	44.5%
3位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	44.3%
4位	視覚障害者向けの点字図書館がある	41.1%
5位	電子資料閲覧席（中央）・パソコン持込み席（目白を除く）がある	34.4%

(2) 豊島区立図書館のサービスの利用意向

[報告書:242頁]

利用意向が高い順に「自動貸出機がある」、「インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる」、「調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）」。

■利用意向の高いサービス

		(n=677)
1位	自動貸出機がある	75.6%
2位	インターネットやスマートフォンから資料の検索・予約ができる	73.4%
3位	調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）	72.1%
4位	区外の図書館から本を取り寄せることができる	71.0%
5位	CD・DVDを借りることができる	64.3%

■利用意向の低いサービス

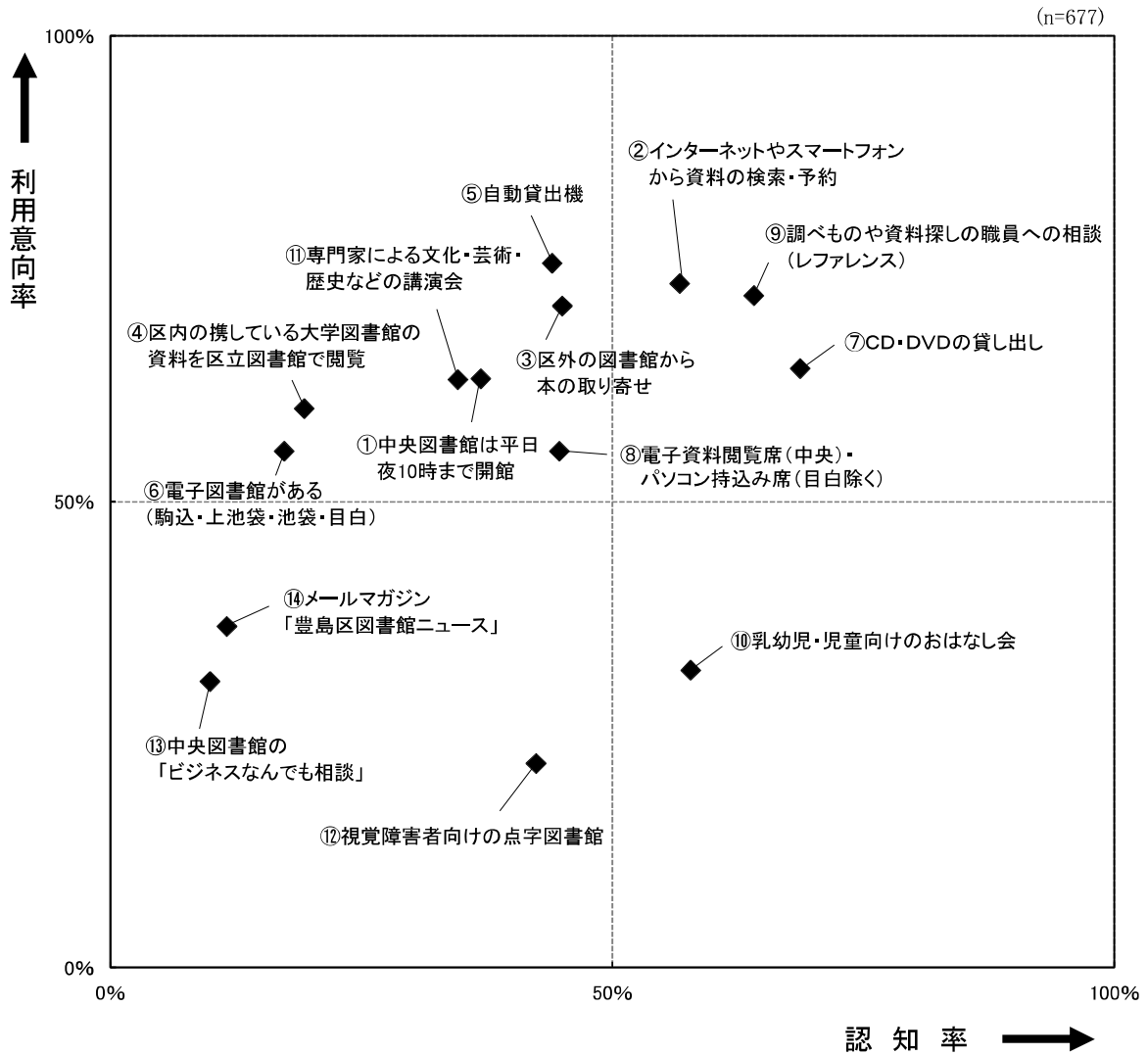
		(n=677)
1位	視覚障害者向けの点字図書館がある	21.9%
2位	中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている	30.7%
3位	乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	31.9%
4位	メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している	36.6%
5位	電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館） 電子資料閲覧席（中央）・パソコン持込み席（目白を除く）がある	55.4%

(3) サービスの認知度と利用意向率

[報告書:248頁]

豊島区立図書館のサービスの認知率を横軸に、利用意向率を縦軸に分布すると以下の通り。
 認知率、利用意向率ともに比較的高いのは、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約、⑨調べものや資料探しの職員への相談（レファレンス）、⑦CD・DVDの貸し出しなど。

認知率は比較的低いが、利用意向率が比較的高いのは、⑤自動貸出機、③区外の図書館からの本の取り寄せ、①中央図書館は平日夜10時まで、⑩専門家による文化・芸術・歴史などの講演会
 などの講演会を行っている開館などであり、これらのサービスについては認知率をより高めることで利用者がより増えることを示唆。



(4) 豊島区立図書館のサービス等の満足度

〔報告書:249頁〕

満足度の高いサービスは「開館している日数（休館日は月2回）」、「図書の貸出冊数（区内在住者20冊まで）」の順。反対に、不満度の高いサービスは「閲覧席」、「資料の数」、「貸出期間（15日間）」の順。

■満足度の高いサービス（「満足」＋「やや満足」）

		(n=677)
1位	開館している日数（休館日は月2回）	71.2%
2位	図書の貸出冊数（区内在住者20冊まで）	70.0%
3位	開館している時間帯	69.1%
4位	図書資料の予約可能数（区内在住者20冊まで）	64.6%
5位	図書館利用カードの更新期限（区内在住者5年）	60.7%

■不満度の高いサービス（「やや不満」＋「不満」）

		(n=677)
1位	閲覧席	15.6%
2位	資料の数	7.8%
3位	貸出期間（15日間）	7.5%
4位	資料の内容	6.3%
5位	館内の環境	5.3%

(5) 豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度

〔報告書:255頁〕

「ほとんど利用しない」が5割近く、「1か月間に数日」、「1年間に数日」が2割台前半。

		(n=677)
1週間に数日		4.6%
1か月間に数日		22.2%
1年間に数日		23.0%
ほとんど利用しない		48.0%
無回答		2.2%

(6) 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間

〔報告書:257頁〕

「1時間以上2時間未満」が3割台半ば、「30分以上1時間未満」が2割台半ば。

		(n=677)
30分未満		15.4%
30分以上1時間未満		25.3%
1時間以上2時間未満		36.0%
2時間以上4時間未満		6.6%
4時間以上		0.9%
わからない		12.9%
無回答		3.0%

(7) 豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験

〔報告書:259頁〕

「ある」が1割台半ば。

		(n=677)
ある		16.8%
ない		79.8%
無回答		3.4%

(8) 豊島区立図書館を平日の夜間(19時～22時)に利用したい時間帯 (複数回答) [報告書:261頁]

「19時～20時」が2割台前半、「20時～21時」が1割台半ば、「21時～22時」が1割台前半。

	(n=677)
19時～20時	22.6%
20時～21時	16.0%
21時～22時	11.7%
利用したくない	24.4%
わからない	38.1%
無回答	0.6%

(9) 豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由 (複数回答) [報告書:262頁]

「読みたい本は自分で購入する」がトップ。「行く時間がない」、「自宅から図書館が遠い」が次ぐ。

		(n=325)
1位	読みたい本は自分で購入する	57.5%
2位	行く時間がない	34.8%
3位	自宅から図書館が遠い	27.1%
4位	場所がわからない	13.2%
5位	閲覧席が満席になっている	8.6%

(10) 豊島区立図書館以外に利用している図書館 (自由記述) [報告書:284～287頁]

文京区、新宿区、北区などの隣接区の図書館や大学の図書館、国立国会図書館などの利用がみられる。

1位	文京区立図書館	31件
2位	新宿区立図書館	20件
3位	北区立図書館	15件
4位	大学の図書館	13件
5位	国立国会図書館	7件

(11) 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス (1～3位計) [報告書:263頁]

「一般向け図書資料の充実」がトップ。「視聴覚資料 (CD・DVD) の充実」、「児童向け図書の充実」が次ぐ。

		(n=677)
1位	一般向け図書資料の充実	56.1%
2位	視聴覚資料 (CD・DVD) の充実	19.0%
3位	児童向け図書の充実	17.2%
4位	電子書籍の充実	16.5%
5位	オンラインデータベースの充実	15.2%

豊島区読書活動に関する実態調査報告書

～ 概要版 ～

令和8年3月発行

発行 豊島区教育部図書館課
豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階
電話 03-3983-7861

子ども読書活動推進計画(第五次)・図書館基本計画(第三次)の策定について

図書館関連2計画について、計画期間が令和9年3月末で終了となるため、次期計画についての検討を行う。

1. 現行計画の概要

●豊島区立図書館基本計画(第二次)	
策定義務	なし
計画策定	令和4年3月
計画期間	令和4～令和8年度(5年間)
内容	図書館を安定かつ継続的に運営するための基本方針
●豊島区子ども読書活動推進計画	
策定義務	子どもの読書活動推進法第9条第2項に基づく努力義務
計画策定	令和4年3月
計画期間	令和4～令和8年度(5年間)
内容	子どもの読書機会の提供と読書環境の整備に向けた、具体的な方向性や取り組みを示す行動計画

2. 豊島区立図書館基本計画

豊島区の「基本構想・基本計画」(※参考資料 1)に基づき、「豊島区立図書館基本計画(第三次)」を策定。

(1)計画期間

令和9年度から令和13年度までの5年間

(2)計画の理念(案)

「多様な役割を持つ新たな図書館の実現」

(3)基本方針(案)

豊島区の「基本構想・基本計画」の精神を発展させ、「図書館としてどのような未来の姿を描き、広げていくのか」。目指すべき方向性を計画に落とし込んでいく。

3.豊島区子ども読書活動推進計画

令和 8 年 3 月に策定、4 月公開予定の「第五次東京都子共読書推進計画」に基づき、「豊島区子ども読書推進計画(第五次)」を策定。(※都の計画に「市区町村は、都の計画をもとに計画の策定及び取組を実施」と記載されているため)

(1)計画期間

令和 9 年度から令和 13 年度までの 5 年間

(2)計画の理念(案)

「多様な役割を持つ新たな図書館の実現」

～読書の喜びと多様な学びを支える読書機会の提供～

(3)基本方針(案)

①発達段階に合わせた読書習慣の形成

⇒「読む楽しさ、自ら学ぶ楽しさ、知る喜び」を実感できる取組み

- ・乳幼児期からの読み聞かせ
- ・主体的・対話的で深い学びの支援(探究学習の推進)
- ・小中学校における区立図書館と学校図書館の連携
- ・高校生が読書に興味関心を持てる取組みの推進

②デジタル技術を活用した取組の充実

- ・区立図書館と学校図書館の連携による、電子図書館を活用した読書推進
- ・本を読むきっかけづくりとしての AI の活用(SNS のアルゴリズムによる「自分好みの情報の受動的受け取り」に慣れた中高生へのマッチング)

③多様な子どもたちの読書機会の提供

- ・読書バリアフリーの推進(障害の有無、母語、家庭環境等に関わらず、読書を楽しめる環境づくり)
- ・区立図書館と学校図書館との連携による、学校でのバリアフリー読書環境の整備

④子供の視点に立った読書活動の推進

- ・子どもの意見やニーズを聴取する機会の確保(利用者アンケート、読書活動実態調査)
- ・子どもが主体的に読書に取り組む環境作り

(4)取組の体系(案)

子どもの読書活動を推進するためには、「図書館」を中心に、生活の場である「家庭」、多くの子ども達が長い時間を過ごす「学校・園」、多様な読書機会を提供する「地域」の連携が欠かせない。各機関の連携・協力のもと、基本方針に基づく事業を展開する。

基本方針	図書館	家庭	学校・園	地域
①発達段階に合わせた読書習慣の形成	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討
②デジタル技術を活用した取組の充実	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討
③多様な子どもたちの読書機会の提供	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討
④子供の視点に立った読書活動の推進	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討	該当事業の検討

(5)目標指標(案)

- 1 不読率の改善状況
- 2 「読書が好き」の割合
- 3 学校図書館・豊島区立図書館(地域の図書館)の利用状況

※内容の詳細、目標指標等については、令和 8 年度に開催される「図書館経営協議会」「子ども読書活動推進会議」等で検討予定

【参考】

上位計画等の状況

- ・豊島区基本計画(計画期間:令和 7 年～令和 11 年度)
- ・(国)子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(計画期間:令和 5～令和 9 年度)
- ・第五次東京都子供読書活動推進計画(計画期間:令和 8～令和 12 年度)